切り拓く産業の振興

山形県産業振興産官懇談会

ごあいさつ

自然と文明の調和、力強く「価値」発信

山形県商工労働観光部長　大澤　賢史氏

山形県が掲げる将来ビジョンは「自然と文明が調和した理想郷山形」の実現であります。この実現に向けて2014年度末には、今後5年間の産業振興の戦略と方向性を明らかにしました「山形県産業振興ビジョン」を策定いたしました。そして、ものづくり分野の行動指針となります「山形県ものづくり技術振興戦略」も策定しています。

この県産業振興ビジョンでは、「不断のイノベーションによる価値の創造と〝やまがた〟の価値の発信を力強く推進し活力ある産業を集積」を基本目標に掲げています。県内企業が、付加価値の高い製品やサービスを生み出し、国内外から高い評価と信頼を勝ち得ていけるような、本県の強みや特徴を生かした産学官金などの多様な連携を構築しながら、県として施策を展開してまいりたいと考えています。

本県経済のけん引役である皆様方には、製造業付加価値額1兆円超の達成と安定的な雇用の場の創出に向けましてご理解、ご協力をお願い申し上げます。

また16年10月には山形県で「やまがた技能五輪・アビリンピック2016」が開催されます。現在着実に準備を進めているところであります。東日本大震災からの復興に向けまして、この山形大会を契機に若手技術者の育成に、東北が一丸となって取り組んでいければと考えております。

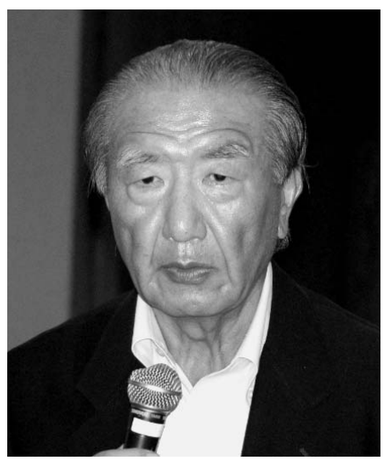
最後に、本県の産業界を代表する皆さまから忌憚（きたん）のないご意見をいただき、今後の産業施策に役立てていきたいと思っています。よろしくお願い申し上げます。

山形県産業政策の方向性

山形産業人クラブ（松村英一会長＝エムテックマツムラ会長）は日刊工業新聞社と共催で、7月29日に「山形県産業振興産官懇談会」を山形市のパレスグランデールで開いた。「やまがたの明日を切り拓く産業の振興」をテーマに今後の産業政策の方向性、有機エレクトロニクス産業集積の促進やバイオクラスター形成、中小企業振興策など、大澤賢史山形県商工労働観光部長らと意見交換した。

新分野への参入や経営革新など促進

エムテックスマツムラ会長　松村　英一氏



国内経済は設備投資が続いています。こうした中、山形県は2015年度から5年先をにらんだ新たな「産業振興ビジョン」を策定しました。戦略の一つとして、競争力のあるモノづくり産業群の形成を掲げています。今となる「産業振興ビジョン」を策定したところです。この産業振興ビジョンでは、三つの戦略を掲げました。

一つ目は「やまがたの明日を切り拓く産業の振興」。本戦略では、有機エレクトロニクスなどの世界最先端の技術を生かした事業化の促進をはじめ、企業間連携による自動車、航空機、ロボット、環境・エネルギー、医療・福祉・健康、食品・農業といった成長期待分野への参入促進に取り組むとともに、県工業技術センターの試作支援機能などの強化を図っていきます。

二つ目の戦略は「やまがたの産業を担う中小企業・小規模業者の振興」です。県内企業のほとんどを占める中小企業において、経営革新による新たな事業展開などが行われるよう、関係団体などとの連携を強化しながら、施策が県内企業の隅々まで浸透し、活用されることにより、活力あふれる中小企業を創出し、雇用創出に全力を尽くします。

三つ目の戦略は「やまがたの産業の源となる人材の確保・育成」です。人口問題に対応する「やまがた創生」の取り組みとも呼応しながら、人材の県内定着・回帰の施策を展開していきます。県では、現在「やまがた創生」のための総合戦略の策定を進めており、総合戦略の策定に合わせて「産業振興ビジョン」に掲げた産業施策をより一層加速させ、引き続き本県の産業振興・雇用創出に全力を尽くします。

世界最先端技術を生かした事業化の推進

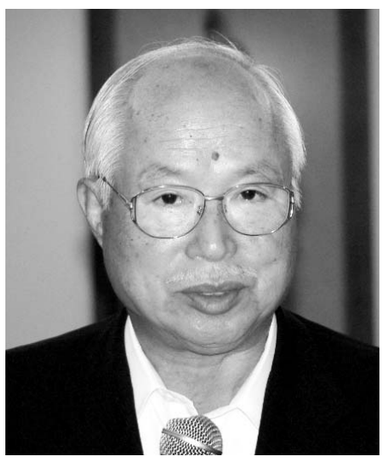
スズキハイテック会長　鈴木　喜代壽氏

山形県が取り組んできた先導的プロジェクトである有機エレクトロニクス関連産業の集積とバイオクラスター関連産業の集積に向けた現状の動きと今後の取り組みはいかがでしょうか。山形大学、慶応義塾大学による先端技術の成果を活用した製品開発など県内企業の競争力強化に向けた関連施策の取り組みについては。

◇　◇

大通薫工業戦略技術振興課長　有機エレクトロニクス関連産業の集積を進めるために、実用化で先行する有機EL照明については、14年度まで進めてきた県有施設などへの先導的な導入効果により、有機EL照明器具の製造に関わる県内企業が50社程度まで増えています。製品製造のノウハウが蓄積されてきました。

今後は、有機EL照明の市場形成を図るため、まずは県民の方々に有機ELを知っていただくことが重要と考えています。そのため有機ELを見て・触れて・注文できる展示スペースの設置に取り組んでいます。また有機EL照明の特性を生かせる分野での市場開拓を進めるため、首都圏での営業活動を強化するとともに、業界大手企業からの依頼により有機EL照明の試作に取り組む県内企業を支援し、県内での生産体制の強化につなげてまいります。



有機ＥＬ市場開拓　バイオ関連も集積

バイオクラスター関連産業の集積については、慶応義塾大学先端生命科学研究所（慶応先端研）の研究成果と企業ニーズを結びつける「産学連携推進コーディネーター」の配置、共同研究の実施などに取り組む県内企業に対する助成などを通じ、バイオ関連産業の集積促進を図ってきています。

こうした中、慶応先端研からは、ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ、Spiber（スパイバー）、サリバテック、メタジェンの四つのベンチャー企業が相次いで設立されるなど、県内のバイオ分野の動きは活発化しています。特にスパイバーは次世代素材として注目される「合成クモ糸繊維」の量産化基本技術を確立し、現在事業化に取り組んでいます。この合成クモ糸繊維を核として、研究拠点の形成や関連産業の県内集積を図っていくため、県、鶴岡市、関係企業などで構成する「山形県合成クモ糸繊維関連産業集積会議」を開催し、産学官金を挙げた全県的な支援体制を構築しています。今後とも、世界から注目される、世界最先端技術を活用した地域づくりを推進していきます。

◇　◇

木村和浩産業政策課長　山形県ではこのたび、今後5年間の本県の産業振興策の羅針盤となる「産業振興ビジョン」を策定したところです。この産業振興ビジョンでは、三つの戦略を掲げました。

一つ目は「やまがたの明日を切り拓く産業の振興」。本戦略では、有機エレクトロニクスなどの世界最先端の技術を生かした事業化の促進をはじめ、企業間連携による自動車、航空機、ロボット、環境・エネルギー、医療・福祉・健康、食品・農業といった成長期待分野への参入促進に取り組むとともに、県工業技術センターの試作支援機能などの強化を図っていきます。

二つ目の戦略は「やまがたの産業を担う中小企業・小規模業者の振興」です。県内企業のほとんどを占める中小企業において、経営革新による新たな事業展開などが行われるよう、関係団体などとの連携を強化しながら、施策が県内企業の隅々まで浸透し、活用されることにより、活力あふれる中小企業を創出し、雇用創出に全力を尽くします。

三つ目の戦略は「やまがたの産業の源となる人材の確保・育成」です。人口問題に対応する「やまがた創生」の取り組みとも呼応しながら、人材の県内定着・回帰の施策を展開していきます。県では、現在「やまがた創生」のための総合戦略の策定を進めており、総合戦略の策定に合わせて「産業振興ビジョン」に掲げた産業施策をより一層加速させ、引き続き本県の産業振興・雇用創出に全力を尽くします。

県側出席者と質問者……（順不同）

〈山形県〉
商工労働観光部長　大澤　賢史氏
産業政策課長　木村　和浩氏
中小企業振興課長　渡辺　将和氏
工業戦略技術振興課長　大通　薫氏
雇用対策課長　富樫　弘氏

〈質問者〉
エムテックスマツムラ会長　松村　英一氏
スズキハイテック会長　鈴木　喜代壽氏
伊藤製作所社長　伊藤　明彦氏
片桐製作所社長　片桐　鉄哉氏

〈日刊工業新聞社〉
取締役業務局長　立松　直樹
〈司会〉日刊工業新聞社山形支局長　大矢　修一

熱　処　理
専門工場
金属表面硬化、調質、真空炉、焼鈍、黒染、パーカー、窒化、軽合金、金型焼入
(株)伊藤熱処理（イネツ）
本社工場　山形市銅町１丁目８－38　電話(023)622－9452(代)
イネツ仙台　仙台市若林区六丁の目元町８－18号　電話(022)288－6118(代)
伊熱いわき　いわき市常磐関船宮下４１－１　電話(0246)44－５６９０
石川工場　福島県石川郡石川町字大橋２－17　電話(0247)26－０８８２
鐵に魂を入れる
山形本社工場　イネツ仙台　石川工場　伊熱いわき

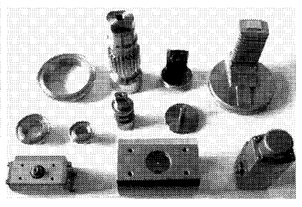
NittoBest　未来の食生活をみつめて
日東ベスト株式会社
本社／山形県寒河江市幸町　☎0237-86-2100(代)
営業本部／千葉県船橋市習志野　☎047-477-2110
爽健亭事業本部／神奈川県横浜市鶴見区寛政町　☎045-521-1251
札幌支店／東北支店／東京支店／名古屋支店／大阪支店／広島支店／九州支店／寒河江工場／高松工場／東根工場／大谷工場／天童工場／本楯工場／神町工場／山形工場／山形配送センター／習志野配送センター／関西配送センター／九州配送センター／学校給食センター
http://www.nittobest.co.jp

Pioneer
東北パイオニア株式会社
代表取締役 兼 社長執行役員　峯田裕之
〒994-8585　山形県天童市大字久野本字日光1105
TEL 代表 023-654-1211
http://www.pioneer.co.jp/topec/

GET good Future with CS
半世紀以上の歴史の中で培われた超精密微細加工技術に加え、ハード・ソフト双方の最先端技術を蓄積。国内事業所と海外事業所のシナジー効果を高め、「エンジニアリング」と「グローバリゼーション」をキーワードに品質と防災の徹底により、安全と安心を添えたMTEXブランドを世界に向けて発信し、未来を見据えたワールドワイドな事業展開を図ります。

お客様とともに未来を築く
エムテックスマツムラ株式会社
●本社・天童事業所
〒994-8501　山形県天童市北久野本1-7-43　TEL023-654-3211(代)　FAX023-654-9088
●尾花沢事業所
〒999-4231　山形県尾花沢市北町2-2-2　TEL0237-22-1151(代)　FAX0237-22-1150
〈関連会社〉㈱新庄エレメックス／エムソフト㈱
MTEX(VIETNAM) CO.,LTD

半導体製造装置・自動車部品・繊維機械部品
一般産業用機械精密部品の製造

半導体製造装置部品
空気圧トルクアクチュエーター

株式会社　伊藤製作所
代表取締役社長　伊藤　明彦
本社・工場
〒990-2445　山形市南栄町一丁目5番16号
電話　023-642-0255
FAX　023-641-6996

エレクトロニクス・自動車分野を支える表面処理技術
確かな表面処理技術で環境に貢献
私達はナノレベルの表面処理技術開発により、先端技術開発と地球環境の保全を行ないます。
JQA-QMA10902　JQA-EM1542
事業部門
■電子部品めっき部門
■自動車部品めっき
・化成処理部門
■塗装部門

尾長島工場
スズキハイテック株式会社
本社・工場／〒990-0051 山形市銅町２－２－30　TEL.023(631)4703
尾長島工場／〒999-0213 川西町大字尾長島740－12　TEL.0238(54)3615